

防コミの歩き方



「継続は力なり」を信じて

兵庫区の旧菊水小学校区(2009年統廃合により閉校)にある菊水校区防災福祉コミュニティは、約2,200世帯、3,300人が暮らしています。

古くからの住宅地が多く、高齢化率が38%を超えるこの地区は、阪神・淡路大震災直後に発生した火災で11,500㎡、161棟が焼損しましたが、その頃のお話を中井委員長に伺いました。

●震災当日はどのような状況でしたか

民生委員として地域活動に関わっていたので地震の直後から菊水センター(現在の地域福祉センター)を開け、避難者の受け入れ準備をした後、生き埋めになっている方の救出に向かおうとしたところ、火の手が上がっているのを発見しました。

消防団のホースを使って消火活動をおこないましたが、南からの風にあおられて火の勢いを止めることができませんでした。

センターは暖房設備が使えたので「小学校は寒くて居られない」と多くの避難者が殺到し、とても受け入れることができなくなり、小学校や自宅へ移るようお願いしました。

今となっては笑い話ですが当時は「中井に追い出された」と言われましたよ(笑)。



菊水地域住民みんなの防災訓練(令和元年度実施)

●その他の活動は

自宅避難している独居の高齢者のためにみんなでお弁当を作って各家庭へ届ける活動を2月の末に始め、大変喜ばれました。また、仮設住宅にお住まいの方の見守りも積極的におこない、当時問題となっていた孤独死の発生をゼロに抑えることができたことは地域としてとても良かったと思います。



婦人消火隊の訓練の様子

●防コミ活動で大切なことは

何といっても住民同士のつながりを大切にすることです。日頃から顔の見える関係を築いておけば、災害時にもお互いが協力することができます。多くの要援護者を抱えるこの地域では防コミ委員だけではその支援をおこなうことは到底できませんので地域の協力が不可欠です。防災訓練を「菊水地域住民みんなの防災訓練」と呼んでいるのもそんな思いからです。

「継続は力なり」という言葉があるように、訓練では同じことを何度も繰り返し、身に付けることが、いざという時に必ず役立つと信じています。

●委員長としても継続してくださいね

それはどうだか(笑)。

(兵庫区：菊水校区防災福祉コミュニティ)